

# 取り付けと接続

## NVX-FW5

Sony Corporation ©1999 Printed in Japan



### 付属部品の確認

**地図ディスクプレーヤー**

- ① マジックテープ (50cm)\*
- ② 電源コード
- ③ 圧着式コネクタ (赤)
- ④ 圧着式コネクタ (ピンク) × 2
- ⑤ コネクションボックス接続コード

**モニター**

- ⑥ スタンド
- ⑦ 固定用ネジ × 3
- ⑧ スタンドカバー
- ⑨ クリーニングクロス
- ⑩ コードクランパー × 5 (GPSアンテナ用を含む)

**GPSアンテナ**

- ⑪ GPSアンテナ
- ⑫ クッション

**TVアンテナ**

- ⑬ TVアンテナ (左1、右1)
- ⑭ 防水ゴム × 2
- ⑮ 両面テープ × 2
- ⑯ コードガイドレール × 2
- ⑰ クリーナー液
- ⑱ 不織布
- ⑲ コードクランパー × 6

**リモコン**

- ⑳ ナビシステム用
- ㉑ リモコンホルダー (ナビシステム用)
- ㉒ 両面テープ

**その他**

- ㉓ アースコード

**ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内** (FAX付電話をご利用いただけます)

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオの取り外し方法、各種センサー位置等の資料

① インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信

② 資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

24時間お手元のFAXで資料が取り出せます

・ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様の負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。

・FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日メンテナンス日とさせていただきます。)

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ  
●東京03(5448-3311) ●名古屋052(232-2611) ●大阪06(6539-5111)

Sony online <http://www.world.sony.com/>

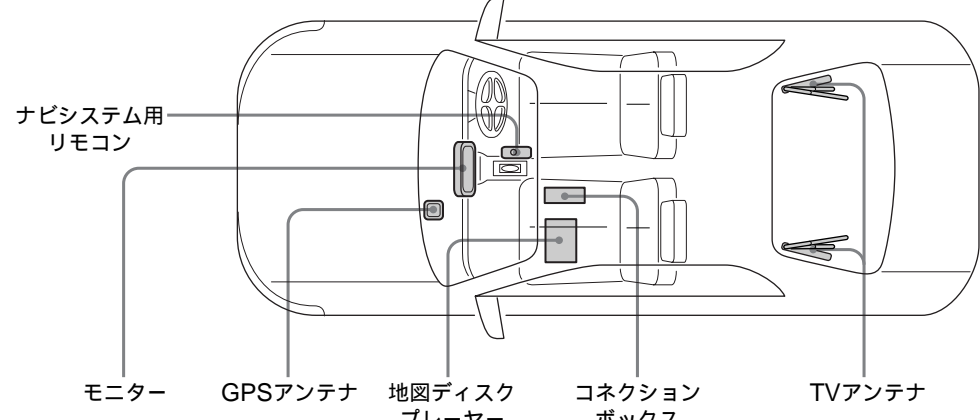
「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは  
テクニカルインフォメーションセンターへ  
(モバイルエレクトロニクス専用)  
0120-64-0131 (フリーダイヤル)



### 取付場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各機器を配置してください。



- 1 イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく
- 2 仮置きして(上図参照)、ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

### 1 地図ディスクプレーヤーを取り付ける

**マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーベットなどに取り付ける**

●**ご注意**

- ・マジックテープは、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
- ・横置き位置で水平20°以内に、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。
- ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- ・次のような場所への取り付けは避けてください。
  - 高温になるところ
  - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

### 2 コネクションボックスを取り付ける

**マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーベットなどに取り付ける**

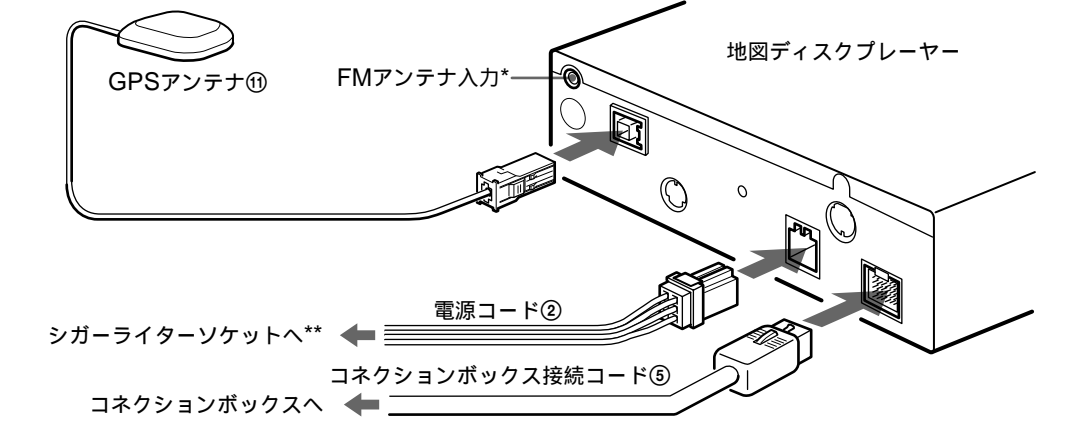
●**ご注意**

- ・マジックテープは、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
- ・地図ディスクプレーヤーとコネクションボックスは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。
- ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- ・次のような場所への取り付けは避けてください。
  - 高温になるところ
  - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

オルタネーターノイズが発生するときは  
オルタネーターノイズ(エンジン回転を上げたときのヒューンという音)が発生する場合には、アースコード⑳をコネクションボックス側面のネジで固定し、コネクションボックスを車体の金属部分にアースしてください。

### 3 地図ディスクプレーヤーと接続する

下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。



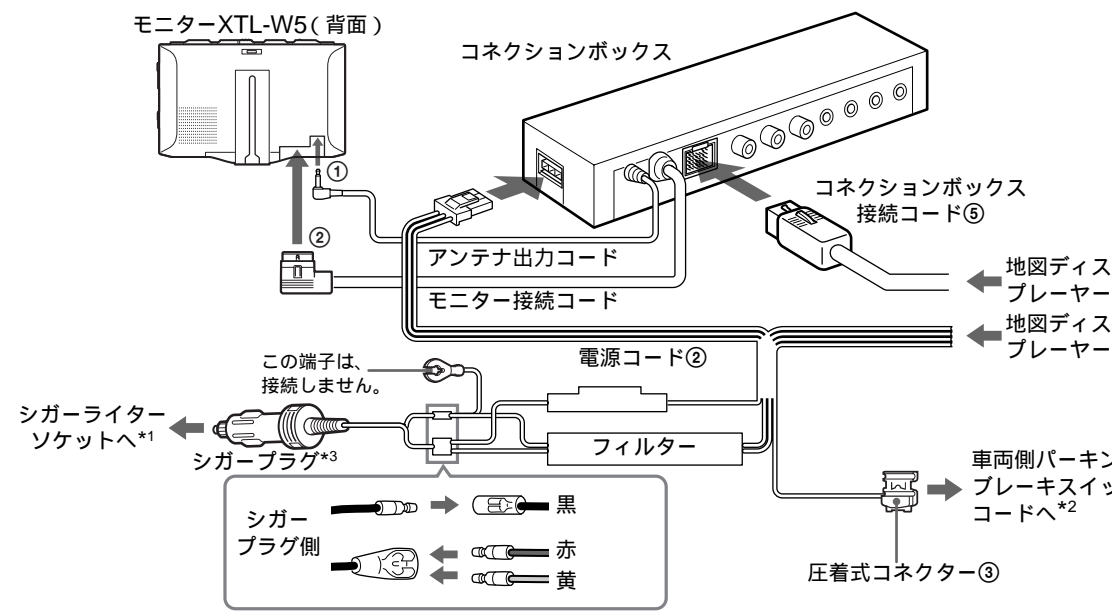
- ご注意**
- \* TVアンテナの4系統のアンテナ入力のうちの1本を使用してください。詳しくは、「⑥ TVアンテナを取り付ける」をご覧ください。
  - \*\* 作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。

●**ちょっと一言**

別売りの簡易車速パルス発生器XA-200Sをお使いになると、ナビゲーションシステムの自車位置の精度が向上します。XA-200Sでは、カーコンピュータ・の車速パルスと接続する必要がありません。

### 4 コネクションボックスと接続する

本機は、電源にシガーライターソケットを使うことで、電源への接続を簡単にしています。下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。



- ご注意**
- \* 作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。
  - \*\* パーキングブレーキスイッチコードに接続しないと、ナビゲーションシステムが走行中と誤ってしまい、設定や登録などの複雑な操作ができなくなります。詳しくは、裏面の「パーキングブレーキスイッチコードの接続について」をご覧ください。
  - \*\* お買い上げ時は、接続された状態になっています。シガープラグを使用しない場合は上記イラストの部分をはずして接続してください。

### 5 モニターを取り付ける

取り付け位置については、裏面の「モニターを取り付ける前」をご覧ください。

- 1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑥を曲げる
- 2 クリーニングクロス⑨で取り付け面の汚れを落とす
- 3 両面テープ⑮のはり紙をはがし、貼り付ける
- 4 固定用ネジ⑦で固定する
- 5 スタンドカバー⑧を着せる
- 6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める
- 7 レバーをゆるめて角度を調節する

●**ご注意**

- ・取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヘア 드라이ヤーなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
- ・取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- ・取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

調節後はレバーをしっかり締めて固定します。

### 6 TVアンテナを取り付ける

●**ちょっと一言**

不織布にクリーナー液を染みこませ、取り付け面に付着している汚れなどを拭きとってから、取り付けてください。

TVアンテナの使いかたと取り付けかたについては裏面の「TVアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

●**ご注意**

・アンテナコードを切る場合、下図のように必ずコードに沿って切ってください。

**配線のしかた**

裏面の「TVアンテナの取り付けについて」もあわせてご覧ください。

●**3 TVアンテナコードを接続する**

端子の1本は、地図ディスクプレーヤーのFMアンテナ入力へ

●**必要な場合は、ここを切ってください**

●**配線のしかた**

上面図 TVアンテナへ

上面図 TVアンテナへ

側面図

●このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因となります。

### 7 GPSアンテナを取り付ける

●**ご注意**

- ・一部のウィンドウガラスには、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けると受信状態が不安定なときは、1度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。
- ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

リアトレイや車外に取り付ける場合は裏面の「GPSアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

**マジックテープ①を必要な分だけ切り、GPSアンテナ⑪を取り付ける**

### 8 車のエンジンをかけて、リセットボタンを押す

地図ディスクプレーヤー

リセットボタン  
つまようじの先などで押してください。

### 9 リモコンを取り付ける

●**ご注意**

- ・次のような場所への取り付けは避けてください。
  - シフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
  - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。
  - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ。
- ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

**リモコンと受光部が向き合うように、両面テープ⑲で取り付け**

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

●**取り付け面へ**

両面テープ⑲

リモコンホルダー⑳



# 警告 安全のために

## 警告表示の意味

「取り付け説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。  
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。  
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡**や大けがの原因となります。

**本機はDC12Vマイナースター専用です**  
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

取り付け、接続作業をするときは、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく  
イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。

前方の視界を妨げる場所に取り付け  
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない  
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け  
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない  
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け  
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をするとき、事故や感電、火災の原因となります。

分解や改造をしない  
火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切ると、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付け  
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

規定容量のヒューズを使う  
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

安定した場所に取り付ける  
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

本機の通風口や放熱板をふさがない  
フロアカーベットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。

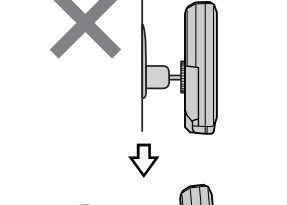
付属の部品で正しく取り付け  
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

アンテナは確実に両面テープで固定する  
車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

## モニターを取り付ける前に

### ご注意

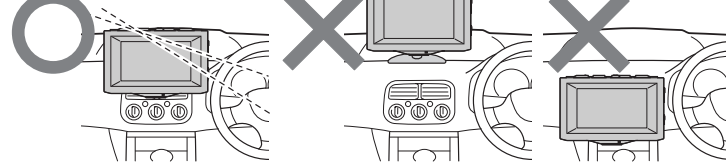
- 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けください。
- 不安定な取り付けは絶対にお避けください。走行中ははずれることがあり、大変危険です。



モニターは、安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行なってください。

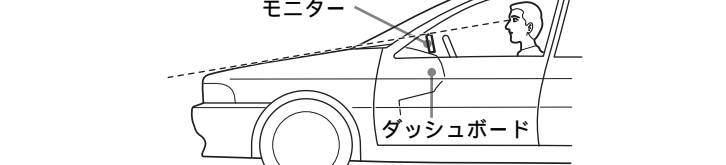
### 取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。極端に目線を下げる位置に設置しないでください。



### 取り付け位置のポイント

運転者から見て、ボンネットの先端よりもモニターが上に出ない位置に取り付けます。



### 取り付け例

モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。ダッシュボードが曲面の場合、ダッシュボードが平面の場合、モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。



## TVアンテナの取り付けについて

取り付ける前に  
必ずリアウィンドウに取り付けてください。

なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラスの曲面が大きいはがれるおそれがあります。

車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離してください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受け場合があります。

エレメントが車体より出ない所を選んでください。目に当たるなどして大変危険です。

湿気の高いとき(雨、霧など)は、取り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。

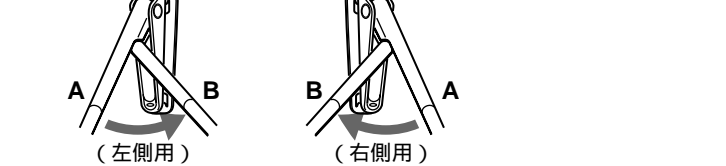
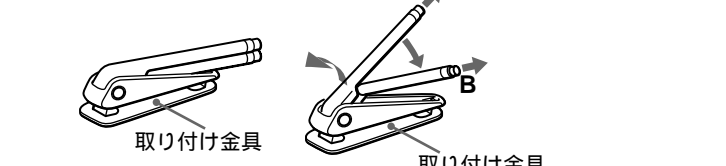
取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドウデフォッガー、ヘッドライナーなどを利用して、温めてから貼り付けてください。

取り付けたら  
24時間はアンテナに水をかけたり、雨にあてたり、無圧力を加えないでください。

走行前に、確実に固定されていることを必ず確認してください。取り付け後は、取り付け状態と取りかき換えてください。

自動洗車機の使用は避けてください  
アンテナ本体、エレメント、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなどで拭かないでください。(変形、破損の原因となります。)

このような場所では、映りにくくなります。  
1. ビルとビルの間  
2. 高圧線、送電線付近  
3. 飛行機が近くを飛んでいる場合  
4. 電車が近くを走行している場合  
5. 山中や送電局から遠い場所  
6. トンネル内  
7. ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近



## GPSアンテナの取り付けについて

### ご注意

- 取り付けるときは、ボディを傷つけないように静かに置いてください。
- コードを車外でたまたまままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー® をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが壊れることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。
- GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通ります。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPSアンテナおよび本体(地図ディスプレイ)の故障の原因となります。

アルミやFRPボディの車に取り付ける場合  
アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

アンテナの塗装について  
アンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにはアンテナを分解しないでください。

GPS衛星からの電波を運ぶものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。車内に通ずる場所がない場合は、車外に取り付けてください。

ちよっと一言  
GPS衛星からの電波を運ぶものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。取り付けたら詳しくは、裏面の「7」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

GPS衛星からの電波を運ぶものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。取り付けたら詳しくは、裏面の「7」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

ちよっと一言  
GPS衛星からの電波を運ぶものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。取り付けたら詳しくは、裏面の「7」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

ちよっと一言  
GPS衛星からの電波を運ぶものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。取り付けたら詳しくは、裏面の「7」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

ちよっと一言  
GPS衛星からの電波を運ぶものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。取り付けたら詳しくは、裏面の「7」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

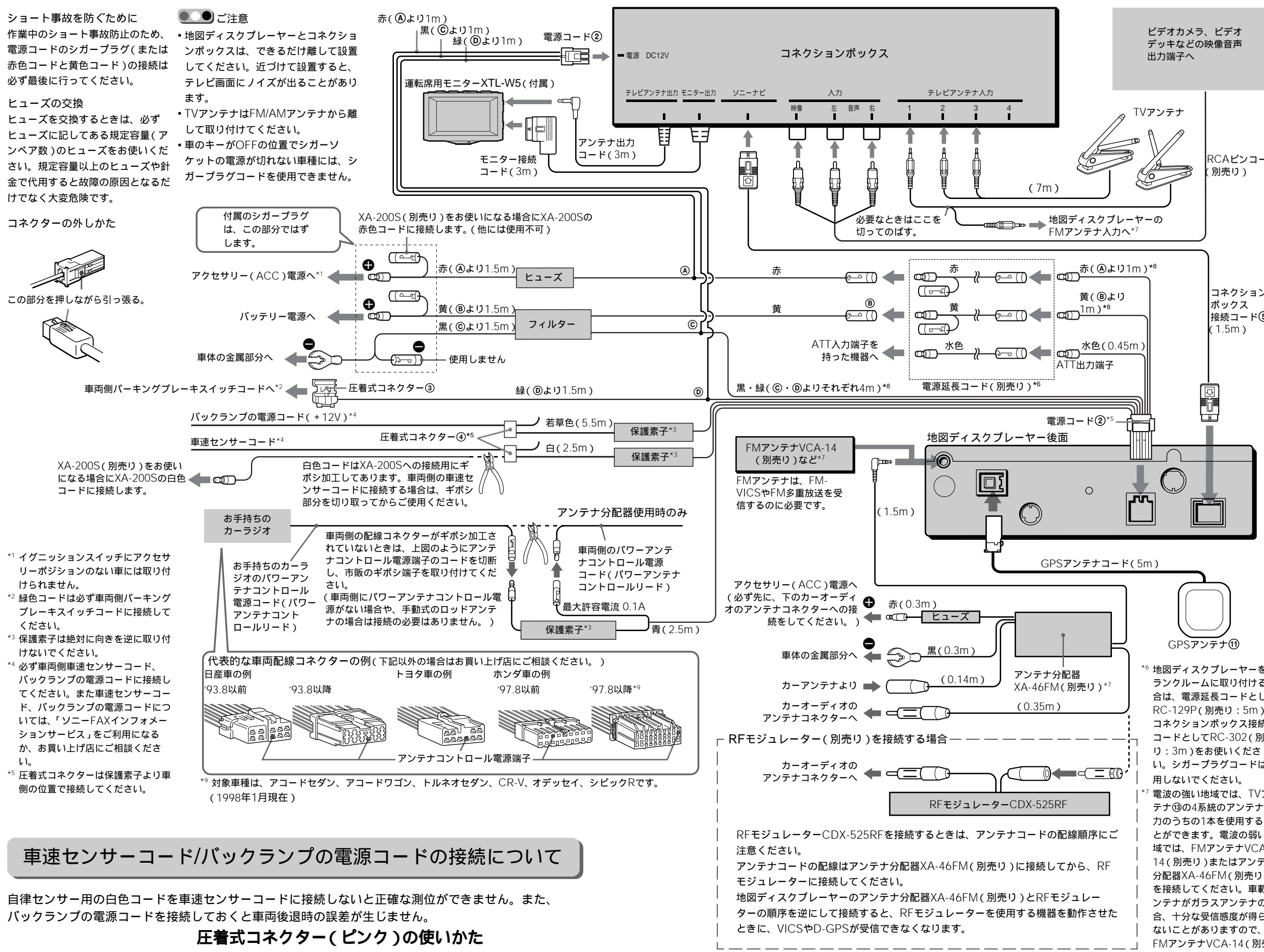
ちよっと一言  
GPS衛星からの電波を運ぶものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。取り付けたら詳しくは、裏面の「7」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

ちよっと一言  
GPS衛星からの電波を運ぶものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。取り付けたら詳しくは、裏面の「7」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

ちよっと一言  
GPS衛星からの電波を運ぶものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。取り付けたら詳しくは、裏面の「7」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。

## 接続図(シガープラグを使用しない場合)

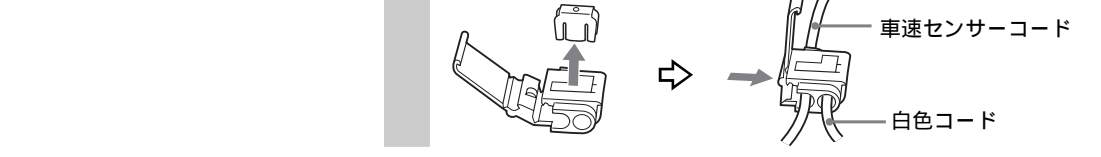
必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。取り付ける車両の詳しい資料については、「ソニー-FAXインフォメーションサービス」(表裏左下参照)をご利用することもできます。



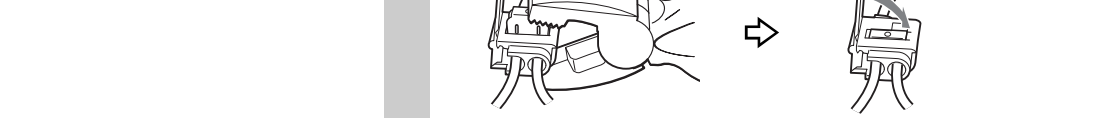
## 車速センサーコード/バックランプの電源コードの接続について

自律センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位ができません。また、バックランプの電源コードを接続しておくこと車両後退時の誤差が生じません。

圧着式コネクタ(ピンク)の使いかた  
(バックランプの電源ケーブル(若草色コード)の取り付けかたも同様です)

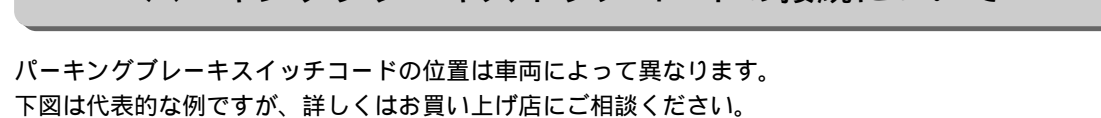


手順1ではずした金具を取り付け、ふたをする



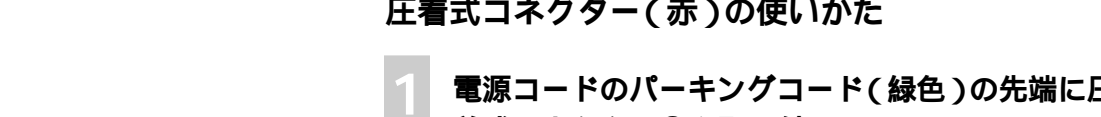
## パーキングブレーキスイッチコードの接続について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

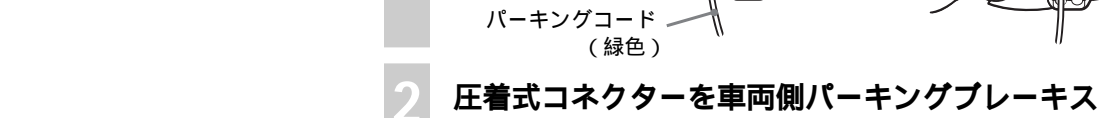


圧着式コネクタ(赤)の使いかた

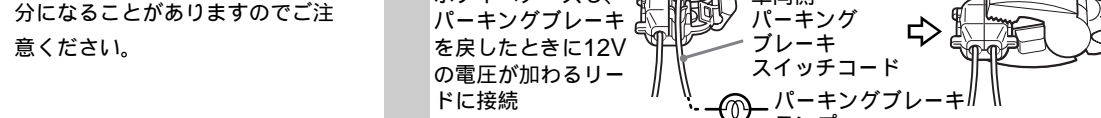
電源コードのパーキングコード(緑色)の先端に圧着式コネクタ®を取り付ける



圧着式コネクタを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける

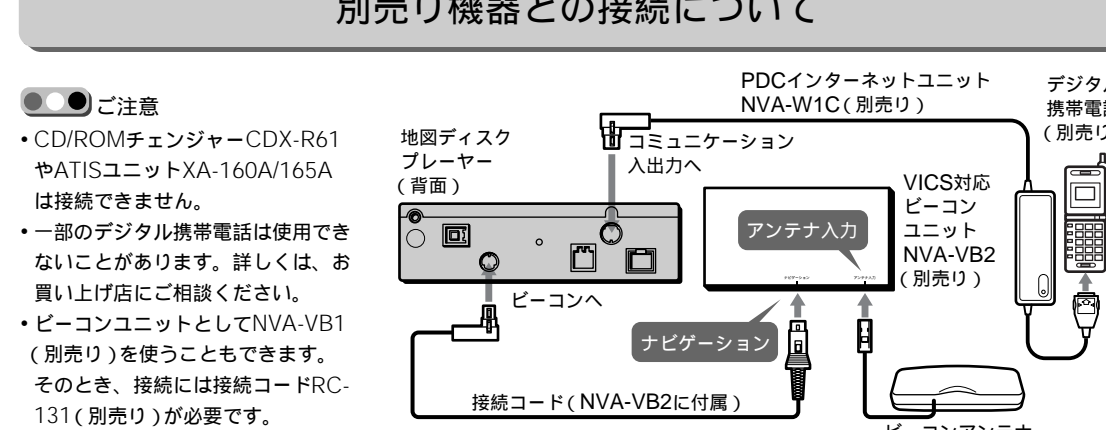


圧着式コネクタを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける



圧着式コネクタを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける

## 別売り機器との接続について



## コードの処理について

